

## 平成27年度 教育委員会 経営計画書

職・氏名	経営方針	経営資源			
教育次長 近成昌行	<p>●使命 私たち教育委員会は、教育が未来を担う人材を育成する基盤であるとの認識に立ち、「第2次瀬戸内市総合計画」に基づき、市民の期待に応えるよう教育行政を推進します。</p> <p>●基本方針 ①学校教育においては、学びの基本は授業であるとの認識のもと、授業及びそれを支える教育環境の改善を推進します。 ②社会教育においては、生涯学習の機会を提供するため学習環境を一層充実するとともに、活動拠点となる社会教育施設の整備充実及び適切な管理運営に努めます。 ③学校教育と社会教育が連携した取組として、学校、家庭、地域が一体となって学校教育を支援する「学校支援地域本部事業」の一層の充実に努めます。</p>	所管課	総務学務課・社会教育課・公民館 学校給食調理場		
		人 員	正職員	臨時職員	合計
			67人	157人	224人
		一般会計	2, 124, 452 千円		
		特別会計	千円		
		計	2, 124, 452 千円		
	(うち人件費)	( 517, 688 千円)			

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
1	学校における耐震化事業を、非構造部材の耐震化も含め、平成27年度中に完了します。	耐震化の対象となっている校舎等の構造体の耐震化を100%とします。 (平成26年度末現在の耐震化率 98.6%) 非構造部材の耐震化についても、牛窓東小と長船中の体育館2棟と邑久中と長船中の武道場2棟の非構造部材耐震化工事を実施します。	長船中武道場の構造体及び非構造部材の耐震化工事については、工事業者が決定し、来年2月頃に工事完了予定です。 非構造部材の耐震化工事は、牛窓東小と長船中の体育館2棟と邑久中の武道場の工事が完了しました。	長船中武道場の耐震化工事については、現在工事中で、2月末に完了予定です。 他の非構造部材の耐震化工事は、完了しました。	長船中武道場の耐震化工事については、2月末に完了し、国の指針に基づき平成27年度までに、学校施設の耐震化事業を完了しました。

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
<p>2</p> <p>児童生徒の学力向上と教員の授業力向上を図るため、「体験型授業」をさらに推進します。</p> <p>また、不登校問題の解決に向けて「不登校対策実践事業」を推進します。</p>	<p>① 体験型授業 市内の小中学校において、昨年度以上に体験型の研修を広げ、教員の指導力の向上並びに授業改善の意識向上を図ります。また、体験型学習のノウハウを授業に取り入れ、興味関心を高め、児童生徒の学習意欲の向上につなげ、学力向上を目指します。</p> <p>② 不登校対策実践事業 小学校において、不登校対策担当者を中心とした組織的な対応力を向上させるとともに、登校しづらい児童に対する登校支援や保護者への相談支援を行うなど、新たな不登校を生まない取組を中心に、実践的な研究を進めます。</p>	<p>① 体験型授業 市内7小学校、2中学校で公開授業をともなった研修、または児童生徒の学習意欲向上を目的とするスキルアップ研修を実施します。そのため、夏期休業中においてマイスター研修を実施し、1月には講演会を実施します。年度末には効果検証を行い、3年間の取り組み成果を振り返り、成果と課題を洗い出します。</p> <p>② 不登校対策実践事業 新たな不登校を生み出さないように努め、不登校の出現割合を減少させます。</p>	<p>① 体験型授業 夏季休業中には、マイスター研修を実施し、市内小中学校の教員19名が参加しました。公開授業をともなった研修は、9月に1校実施しています。他の学校も2学期中に実施する予定です。</p> <p>② 不登校対策実践 邑久小学校に1名の登校支援員を配置しています。児童生徒の個別の支援カードを作成しました。</p>	<p>① 体験型授業 市内の小学校3校、中学校2校で公開授業をともなった研修を実施しました。1月15日には、教育講演会を実施し、市内外約60名の先生方が参加しました。</p> <p>② 不登校対策実践 邑久小学校において、昨年度と同じ時期と比較すると、不登校の出現状況は、半分以下となっています。登校支援員配置が寄与しています。</p>	<p>① 体験型授業 「実験や観察に興味関心を持って取り組んでいる」と肯定的に答えた児童は、体験型授業を推進する前より5ポイント増えています。また、先生方の授業改善にもつながりました。</p> <p>② 不登校対策実践 年間を通して不登校児童が半数近くになっており、小学校の出現率は0.5人、中学校の出現率は3.7人となっている。不登校支援員の配置により、学校が楽しいと答える児童数が増加しており、気持ちが前向きになっています。</p>

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
3	<p>市民の生涯学習拠点施設としての新図書館の建設を完了します。</p> <p>①新図書館整備工事 郷土資料展示機能を含めた延床面積2,300㎡の新図書館工事を実施します。蔵書収蔵冊数は約20万冊となります。</p> <p>②図書購入 新図書館用図書として、約2万2千冊の図書を選定し、収蔵します。 (平成23年度から平成25年度までに、新図書館用図書として、約2万8千冊を購入済)</p>	<p>①新図書館整備工事 新図書館の工事を27年12月末に完成させ、28年4月末の開館を目指し、開館準備を3月末までに70%程度進捗させます。また、長船町公民館図書室の改善に向けた予算編成を行います。</p> <p>②図書購入 9月末までに、約1万冊、3月末までに残り約1万2千冊を選定し、収蔵します。 (内訳は、児童書約4,000冊、一般書約18,000冊とする計画)</p>	<p>①新図書館整備工事 新図書館の工事については、配架計画、およびサイン計画が完了しました。 長船町公民館図書室の改善に向けては、設計予算の確保の準備を進めています。</p> <p>②図書購入 9月末までに、選定予定の約1万冊の選定を終了しました。</p>	<p>①新図書館整備工事 新図書館の工事については、2月29日までの工期延期を行いました。現在、内装がほぼ完了し、外構工事の仕上げに入っています。引き渡し後、ただちに書架配架が出来るよう配架計画を整えました。</p> <p>②図書購入 1月末までに1万8千冊の選定を終えました。</p>	<p>①新図書館整備工事 新図書館の工事については、2月29日に引き渡しを受け開館に向けての準備作業を行っています。現図書館の蔵書約4万冊の移動と、新規購入図書約3万冊の配架を完了しました。</p> <p>②図書購入 3月末までに約2万冊の選定を終え、収蔵しました。</p>

	重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
4	市民一人ひとりがスポーツ、文化、芸術活動を主体的に学ぶ生涯学習の機会を提供します。	<p>① 公民館での学びの成果が社会に還元され、よりよい地域社会の実現をめざすよう、市民の主体的な学びや活動を支援します。</p> <p>②美術館、博物館では、夏休みに子供たちにも身近に文化芸術にふれる展示内容にするなどの工夫を凝らし、両館の利用促進を図ります。</p> <p>③ 市スポーツ推進委員会を中心にスポーツ指導者等研修会、少年スポーツ団体交流研修会を実施し、地域スポーツ活動の指導等に対する意識の向上を図ります。</p>	<p>① 目標文化祭参加団体数 165団体</p> <p>② 目標入館者数 美術館：20,000人 博物館：42,000人</p> <p>③目標参加者数 指導者等研修会：80人 少年団体等交流会：100人</p>	<p>① 各会場の実行委員会を開催し、出品・出演の募集案内を8月広報せとうちへ折込。また、公民館登録団体へ案内を行いました。</p> <p>② 9月末入館者数 美術館：25,576人 博物館：23,898人</p> <p>③ 2月から3月初旬の実施に向けて準備中です。現在研修会の講師選定中、及び交流会の内容検討中です。</p>	<p>①10・11月に文化祭を開催し、公民館登録グループや市民の文化活動の発表の機会を提供しました。文化祭参加団体数148団体。</p> <p>② 1月末入館者数 美術館：31,274人 博物館：36,159人</p> <p>③市スポーツ推進委員会を中心に指導者研修会を2月28日に実施予定。講師は元バレーボール全日本代表「杉山明美」を予定しています。</p>	<p>① 市内3会場で文化祭を開催し、市民の文化活動の発表の機会を提供しました。ステージ発表は子どもたちの参加もあり年々増えている状況です。公民館グループや文化祭協力団体の参加数が増える工夫を検討します。</p> <p>② 美術館では開館5周年特別展「長渕剛 詩画展2015」など、博物館では特別展「真剣女子の日本刀展」などを開催しました。 3月末入館者数 美術館：36,090人 博物館：44,175人</p> <p>③2月28日、ゆめトピアで「少年スポーツ団体指導者等研修会」を実施しました。講師は元バレーボール全日本代表「杉山明美」氏で、市内のスポーツ指導者等約70名が参加しました。</p>

	重点項目	内容	成果目標	9 月末の進捗状況	1 月末の進捗状況	3 月末の達成状況
5	<p>学校、家庭、地域が一体となって学校教育を支援する「学校支援地域本部事業」を推進し、すべての学校に学校支援地域本部を設置します。</p>	<p>① 現在活動している 9 校の学校支援本部を引き続き支援するとともに、本年度は全校実施を目指します。</p> <p>② 土曜日の教育支援体制について検討を行います。</p>	<p>① 6 月を目標に行幸小学校支援地域本部を設立し、牛窓西小学校、牛窓中学校については、9 月を目標に学校支援地域本部を設立します。</p> <p>② 土曜日の教育支援活動について、引き続き実施場所、人的体制等の検討を行います。</p>	<p>①牛窓西小学校は 4 月 21 日、行幸小学校は 5 月 14 日に地域教育協議会を開催し、支援本部を設立しました。牛窓中学校については、本年度の設立は難しいと判断され、来年度以降の設立を目指します。</p> <p>②土曜日の教育支援活動について、引き続き実施場所、人的体制等の検討を行います。</p>	<p>①各学校支援地域本部の事業も順調に進んでいます。呂久・長船地域では、中学校区で各事務局と各コーディネーターが連携を取るための会議を実施。また全学的なコーディネーター・ボランティア研修会を実施しました。</p> <p>②土曜日支援活動は引き続き検討を行っています。</p>	<p>①教育支援活動運営委員会主催のボランティア等研修会を実施しました。講師はスクール・アドバイザー・ネットワーク理事長「生重幸恵」氏で、約 70 名の参加があり、学校支援について研修を行いました。各学校支援地域本部事業も順調に実施されました。</p> <p>②土曜日教育支援活動においては、場所、体制などの諸問題の検討が必要です。引き続き検討を行っていきます。</p>